

箱根組ニュース

第377号 2024年 10月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

大山別ルート、ヤビツ峠から山頂の優しい尾根道、日向薬師への下りは楽しく厳しかった！

9月15日(日)、小田急線新宿駅6時11分発の急行新松田行きに乗車。

秦野駅に7時19分着。降り立ったのは有倉、川名夫人、佐藤、戸丸の4人。ヤビツ峠行きのバス停に並んでいると西川さんからラインが入る、「臨時バスがあったので乗りました」とのこと。

7時44分発のヤビツ峠行きは満員だが早く並んでいたので無事に最後部に座れた。臨時の後発もあとに続く。

8時32分、ヤビツ峠に到着。たくさんの人が準備をしている。トイレ前に先に着いた西川さんの姿を発見。

というわけで総勢5名が揃った。各自ストレッチと身支度をする。

8時58分、出発。バス停のすぐ左、手前の階段状を登って行く。

バス停から反対側に車道を進めば三の塔、塔ノ岳の表尾根方面だ。11月にはこのルートで三の塔に行こうと思う。大山方面の標識には、蓑毛近道(柏木林道50分)とある。ここからの下山で蓑毛方面にバスがない時に利用できそう

だ。

さて少し上ると、すぐにヤビツ峠レストハウスが左側にある。新しくきれいなお店だ。大山2,3キロの標識に沿って緩やかに登って行く。右下には蓑毛3キロの標識が分かれている。

このルートはよく整備された道でも歩きやすい。丸太を利用した階段などとてもよく出来ている。大山阿夫利神社からのルートは岩が多くなかなか歩きにくいが、こちらは穏やかな尾根道といった感じだ。

朝のうちは周囲はガスが沸いていたがこのガスもやがて晴れてくる予想だ。

9時55分、右方向に展望が開けた場所で一休み。眼下に秦野方面の街並みだろうか、よく見える。

10時過ぎ、穏やかな平坦な尾根道を歩いていると日差しが出てくる。ススキの穂が出たばかりで美しい。ヒノキの植林地が目立ってくる。

10時25分、少し急になり岩場が出てくる。



10時50分、長い木道の路が出てくる、まるで桧洞丸に向かう道のような。木道の足もととは両側が緑の笹で、灌木に差し込む日差しが光って美しい光景だ。平坦になり、まもなく分岐点。

10時54分、阿夫利神社からの道と合流する。のんびりと人も少なめの道を歩いてきたので、阿夫利神社からの人が多くてびっくりする。親子連れなどが次々と登ってくる。降りてくる人とでこった返しているような感じだ。このにぎやかさは三連休のせいもあるだろう。

小休止していると尾根の南側少し下に鹿を発見。少し小さいので今年生まれの鹿かもしれない。数メートルの距離でこちらをそれほど気にすることもなく草を食べている。夏毛の鹿子模様がある。さて、少し急な岩の道を過ぎると階段状になり鳥居もくぐる。

11時20分、

山頂エリアに着。絶景を堪能してから標識に行くとき空いているので記念撮影。

標識周辺は座るところがないほどのにぎやかなので一段下

の広場に行く。トイレもすぐ北側にあるので便利だ。

11時半、大きな桧の下の日陰を選んで昼食だ。ビールで乾杯。お湯を沸かしてインスタント味噌汁と仕上げはコーヒード。みんなの持ち寄り佐藤さんのブラックニッカの麦茶割も美味しい。有倉さんのシャインマスカットは格別の美味だった。

食事中も次々と人が通つてまるで銀座通りのようだ。

12時45分頃出発。青空と白い雲を眺めながら降りてゆく。目標は3時間後の日向薬師。まずはよく整備された木道を下る。秦野、伊勢原方面の街並みの先には相模湾、その上に広がる青い空と雲で絶景だ。

すぐに、見晴台2.2キロ日向薬師6.5キロの標識がある。平坦な木道をしばらく進むと九十九折れの道になる。相変わらぬいい景色を見ながら進むので快適だ。マルバダケブキの黄色い花が目立つ。

10月20日(日)奥多摩のふれあい森林浴コース。
らくだコース(1時間〜2時間)
奥多摩駅から歩き始めます。日原川とその先で合流する多摩川沿いの森林浴コースを歩いて奥多摩駅に戻ります。

※味噌汁を作ります。

○持ち物 お弁当、食器、箸、カップ、飲料水、非常食、傘、雨具、着替え、タオル、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

●締め切りは10月18日(金)

集合 10月20日(日)

JR新宿駅 7:44発(11番線)
ホリデー快速おくたま3号 青梅行き
(前から3両目車内)

途中駅発

中野 7:49 三鷹 7:58 国分寺 8:05
立川 8:12 西立川 8:16 拝島 8:28

青梅 8:44着(乗り換え) 8:46発
ホリデー快速おくたま83号奥多摩行き
奥多摩 9:16着

交通費 新宿〜奥多摩 1,110円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegum

2時45分、山頂から2キロ地点、見晴台まであと200mだ。しばらくは尾根の割と平坦な道を進む。

2時49分、整備したばかりのようなきれいな新しい木道が出てきたら、目の前に見晴台の広場が見える。奥の東屋の手前にたくさんのベンチとテーブルが並んでいる。しかし多くの人がいてほとんど埋まっている。一つ空いたのでここに座って休憩。北側方面の景色がよく見える。東屋の手前には「山岳安全」と彫られた大きな石碑が立っている。

ここの分岐を右に行けば大山阿夫利神社の下社に行くことができケーブル



で楽々降りられる。しかし我々はこの後も長い下りを選んでいく。

3時5分頃出発。日向薬師まで4、2キロだ。しばらくは割と穏やかな下りだ。咲きだしたばかりのススキの穂が美しい。その先には海も見える。

4時過ぎ、気が付くと足元が石畳になっている。これがなかなか歩きにくいし、足に負担になる。慎重に下る。

4時17分、いったん車道に出る。簡易トイレもあり小休止。標識には日向薬師まで、2.4キロとある。

4時25分、車道を突っ切って山道を下ってゆく。植林の針葉樹の林を下ってゆく。15分ほどで右下に小さな沢が出てくる。

4時40分、目の前に細い橋が現れる。丸木二本に横木を打ち付けたような細い橋で一人ずつ慎重にわたる。川名夫人が渡った先で足の不調を訴え少し座り込む。荷物を持ってあげて目の前の車道まで出る。しばらく歩いていなかったのでも足の筋肉にきたようだ。車道に出ると自分で荷物を担いで歩いたが、大丈夫のようだった。

クアハウス山小屋で入浴も考えていたが、かなり賑わっているようで断念する。スマホでバス停の時間を調べると5時25分発。ギリギリかなと思ったが、

頑張れば間に合いそうなので少³しギアを入れる。何しろ日向薬師バス停発はバスが1時間に一本しかない。みんなに6時には伊勢原駅前で生ビールを飲もうとニンジンをつぶら下げて歩く。

これまで佐藤さんに先頭をお任せしていたが、戸丸が先頭で歩く。ヤマツプの地図を見ながら残り時間を予測しながら歩く。佐藤さんは二番手で後ろの3人の状態を見ながら歩く。

緩やかな下りだが頑張って歩いたせいか翌日、ふくらはぎは筋肉痛だった。

5時22分頃、戸丸はバス停着。後ろを振り返ると佐藤さん以下4名が続いている。

5時24分、発車1分前に無事全員乗車できた。

5時50分頃伊勢原駅南口に到着。北口にお店がありそうなので移動する。少しうろうろ探したが駅前近くの二階の海鮮丸という店に落ち着く。店名の通りにお刺身がうまかった。また飲み物が7時半まで30%引きとのことでもこれもラッキーでした。ノナルの西川さんには申し訳なかったが、久しぶりに一緒に飲めて楽しかった。店を出るとまだ外は夕暮れといった感じだった。

大山のヤビツ峠ルートの楽しさを満喫した一日でした。

